

スペイン語ガイドブック

不定詞・現在分詞・過去分詞

■ 1. 不定詞

不定詞の語尾、たとえば *cantar, comer, vivir* のように、*ar, er, ir* の3種です¹。
不定詞は動詞が名詞の役割を示すときに使われます。一般的に、「…すること」の意味で文の主語や目的語になります。

- *Me gusta pasear por este parque.* // 私はこの公園を散歩することが好きだ。
- *Es bueno tomar mucha agua en verano.* // 夏に水を多く飲むのはよいことだ。
- *¿Qué piensas hacer en estas vacaciones? -- Pienso ir al extranjero.* // この休暇に何をしようと考えているの？—外国に行こうと思っています。

不定詞は前置詞の後でも使われます。

- *Trabajamos todo el día sin descansar.* // 私たちは休まず、一日中働いた。
- *Hoy te escribo para darte mi nueva dirección.* // 君に私の新しい住所を教えるために、今日手紙を書きます。

「*al* + 不定詞」は、「…する（した）とき」という意味で使われます²。

- *El euro marca nuevo récord al llegar a los 1,44 dólares.* // ユーロは1.44ドルに達し、記録を更新している。

¹ これらは動詞の代表形として辞書の見出し語の形になっています。

² 不定詞の意味上の主語は、不定詞の後に置きます。

- *Al salir el sol, salimos de casa.* // 日の出とともに私たちは家を出ました。

- Los científicos descubrieron una nueva especie de pez al estudiar el fondo marino. // 科学者は海底を調査したとき魚の新種を発見した。

「ir a+不定詞」は、「直後」の意味（これからしよとすること、これから生じること）を表現します。

- Hoy vamos a estudiar la nueva lección de español. // 今日は新しい課を勉強します。

「疑問詞+不定詞」は、「…すべき」という意味と「…できる」という意味のどちらかになります。

- No sé cómo empezar este estudio. // 私はこの勉強をどのように始めたらいいかかわからない。

不定詞は使役・放任の動詞の目的語になります。

- Juan me hizo esperar una hora. // フアンは私を1時間待たせた。
- Mis padres no me dejan salir por la noche. // 私の両親は夜の外出を許してくれません。

■ 2. 現在分詞

現在分詞の規則形

現在分詞の語尾は、ar 動詞では ando、er 動詞と ir 動詞では iendo です。

- cantar 「歌う」 → cantando
- comer 「食べる」 → comiendo
- vivir 「生きる」 → viviendo

* 現在分詞の完了形は haber の現在分詞+過去分詞です。

- cantar 「歌う」 → habiendo cantado
- comer 「食べる」 → habiendo comido

- vivir 「生きる」 → habiendo vivido

現在分詞の不規則形

(1) 語根母音変化動詞の sentir 型、dormir 型、pedir 型の現在分詞は次のように語根が不規則になります。

- sentir 「感じる」 → sintiendo
- dormir 「眠る」 → durmiendo
- pedir 「頼む」 → pidiendo.

(2) er 動詞と ir 動詞の語根が母音で終わっている場合は、語尾 iendo が yendo になります。

- ir 「行く」 → yendo
- huir 「逃げる」 → huyendo

現在分詞の用法

現在分詞は動詞が副詞の役割を果たすときに使われます。

(1) 分詞構文³

- Cantando, se alegran los corazones. // 歌えば気持ちが陽気になる。
【語句】alegrarse 楽しくなる ; corazón 心

(2) 感覚・放任動詞の目的語の補語

- Me da gusto ver al niño durmiendo con tanta felicidad. // こんなに幸せそうに眠っている子供を見ると嬉しくなる。【語句】dar gusto 喜ばせる ; niño 子供 ; durmiendo < dormir 眠る ; tanto これほどの ; felicidad 幸福

³ 現在分詞の完了形 (habiendo + 過去分詞) は主文の時制よりも前の時点のことを表します。

- No habiendo tenido hijos, jamás pude comprender lo que un hijo significaba para una madre. // 私には子供がいなかったの、母親にとって子がどういう意味を持つのが一度も理解することができなかった。【語句】tener 持つ ; hijo 息子 ; jamás けっして、一度も ; significar 意味する ; madre 母親

(3) 動詞の修飾語

- Me gusta caminar descalza por la playa sintiendo la caricia de las olas. // 私は波が足に触れるのを感じながら海岸を裸足で歩くのが好きだ。【語句】 caminar 歩く；descalzo 裸足の；playa 海岸；sintiendo=<"" b="">感じる；caricia 優しく触れること、愛撫；ola 波

(4) 助動詞＋現在分詞

ir, andar, seguir, continuar などの「移動」や「継続」を示す動詞は、後に現在分詞がつくと、助動詞の働きをします。

- ¿Qué andas buscando? // 何を探しているの？
- Sigo aprendiendo español. // 私はスペイン語を学び続けている⁴。

(5) 名詞の修飾語

現在分詞は一般に名詞を直接修飾することはありませんが、次のようなケースで名詞を収束することがあります。

(a) Haber ＋名詞＋現在分詞

- En la playa hay grupo de jóvenes jugando al fútbol en la playa. // 海岸でサッカーをしている若者たちのグループがいます。

(b) 「感覚」や「伝達」を示す名詞(句)

「感覚」や「伝達」を示す名詞(句)ならば直接修飾することがあります。

- De la calle llegó un grito pidiendo socorro. // 通りから助けを求める叫び声が聞こえた。

(c) 絵画の題名など

- “Niños tocando el violín” // 『バイオリンを弾く子供たち』

⁴ 一方、seguir sin＋不定詞は「…しないままだ」という意味になります。

- Sigo sin entender el significado de esta palabra. // 私はまだこの言葉の意味がわからないでいる。

(6) 進行形→「完了形・進行形・助動詞」

■ 3. 過去分詞

過去分詞の規則形

(1) ar 動詞ならば語根に **ado** をつけます。

cantar 「歌う」 → cantado

(2) er 動詞と ir 動詞ならば語根に **ido** をつける。

comer 「食べる」 → comido

vivir 「生きる」 → vivido

過去分詞の不規則形

(1) 次の動詞は **to** という語尾になります。

- abrir 「開く」 → abierto
- cubrir 「覆う」 → cubierto
- escribir 「書く」 → escrito
- describir 「記述する」 → descrito
- morir 「死ぬ」 → muerto
- poner 「置く」 → puesto
- resolver 「解決する」 → resuelto
- romper 「壊す」 → roto
- ver 「見る」 → visto
- volver 「戻す」 → vuelto

* これらの動詞に接頭辞がついた派生語も同類です。

- descubrir 「発見する」 → descubierto
- componer 「構成する」 → compuesto

(2) 次の動詞は **cho** という語尾です⁵。

⁵ bendecir 「祝福する」と maldecir 「呪う」の過去分詞は規則的です。

- bendecir 「祝福する」 → bendecido

- decir 「言う」 → dicho
- hacer 「する」 → hecho

これらは、すべて形容詞と同じように性・数が変化します⁶。

*	単数	複数
男性	o	os
女性	a	as

過去分詞の用法

(1) 名詞を修飾する

過去分詞は動詞が形容詞の役割を果たすときに使われます。一般に「…された」という受け身と完了の意味を持ちます。修飾する名詞の性・数に一致します。

- Tengo un cuadro pintado por mi abuelo. // 私は祖父が描いた絵を持っている。
- Es maravilloso el paisaje visto desde la ventana. // 窓辺の景色はすばらしい。
- La mayoría de casas construidas en España son de ladrillo y cemento. // スペインで建てられている家の多くはレンガとセメントが使われています。

(2) 過去分詞構文

「過去分詞＋主語」で、従属文の働きをします。

- Caído el sol, los niños volvieron a casa. // 日が暮れると子供たちは家に帰った。

-
- maldecir 「呪う」 → maldecido

⁶ ただし、動詞の完了形で使われるときは性・数の変化がなく、oの形だけが使われます。

(3) 受動文 → 「文・節、受動文」

(4) 完了形 → 「完了形・進行形・助動詞」

スペイン語の質問

不定詞

*** 「…すべき」という意味で使う疑問詞＋不定詞についてなのですが、 cómo に限らずどんな疑問詞を用いてもよいのでしょうか？**

→よいです。たとえば、No sé adónde ir. 「私はどこに行けばよいのかわからない」。

*** 感覚・使役動詞の用法について。dejar は＋不定詞、＋現在分詞、両方の使い方の例文が教科書に載っていて、どちらも使えるというのは分かるのですが、hacer は＋不定詞だけなのでしょうか。また、どちらか一方の用法だけしか許されないといった動詞はあるのでしょうか。**

→hacer の使役構文は＋不定詞だけです。また、使役構文は他に mandar, ordenar, permitir などでも使われますが、これらも＋不定詞です。他に接続法の que 節をとることもあります。

*** 使役動詞で後ろに不定詞がつく場合と過去分詞や現在分詞がつく場合で厳密な意味上の使い分けはあるのですか？**

→使役動詞で現在分詞や過去分詞が使われるのは hacer ではなく、dejar の場合です。現在分詞のときは「…している」（進行）という状態をさせておく、という意味になり、過去分詞のときは「…されている」（受動・完了）という状態にさせておく、という意味になります。dejar は不定詞がつくこともありますが、

このときは「…させておく」という「進行」の意味も「…されている」という「受動・完了」の意味もありません。hacer は不定詞だけで、「…させる」という意味です。なお、hacer も dejar も que+接続法節になることもあります。

*Anoche pasamos el tiempo oyendo contar chistes a Ricardo.の文で Ricardo が主語なのに、なぜ a という前置詞がつくのですか。a という前置詞がつくと目的語になるような感じがします。los chistes de Ricardo としたほうが自然な感じがするのですが。

→確かに a は目的語を示します。この文では oír という知覚動詞が使われています。「知覚動詞(oír)+不定詞+a+不定詞の意味上の主語」という構文で、「…が…するのを聞く」という意味になります。a Ricardo は直接目的語で contar がその補語になるので、全体で主語+動詞+目的語+補語という構成です。「人」を示す直接目的語の前には a がつきます。また、los chistes de Ricardo としてもほとんど同じ意味になりますが、この場合は「リカルドの冗談を聞く」(リカルドの冗談の内容だけが示されます)という意味で、先の「リカルドが冗談を話すのを聞く」(実際に話をしている場の情景が示されます)と少し違います。

スペイン語の理由

***スペイン語の不定詞で、英語の to の代わりにになるものがないのはどうしてですか？**

→不定詞は本来、動詞の名詞形で、英語の to にあたるものはなく、そのままの形で使われました。英語の to は「方向」(…へ)を示す前置詞なので、不定詞も「方向」に通じる「目的」(…するために)の意味のときに使われたのが最初です。それが、だんだんと一般化して不定詞の印のようになりました。ということで、スペイン語は最初から不定詞の形だけを使い続けたので、この問題はなぜスペイン語に to のような印がないのか、というよりも、なぜ英語に to のような印が生まれたのか、ということを考えて方がよいと思います。

